

【要介護認定者数の状況と保険料】過去5年間の9月末時点の要介護認定者数は、21年3335人、22年3518人、23年3742人、24年3975人、25年4177人で、毎年200人程度増加している。要介護認定者がふえる、介護給付費が伸びている現状では、次期の保険料は厳しい状況だが、制度改正の動向を注視したい。

【民生費について】民生委員の委嘱状況は定数184人に対し177人に委嘱済みで、欠員7人のうち4人が内定し、3人が決まっていない。委員には高齢者の見守りや困っている方への相談活動、市への情報提供などを行っているが、個人情報を取り扱ったり、個人の生活状況の相談活動もある事などの理由で欠員が発生する場合は考えられる。

【すこやか子育て支援事業費】市内の保育施設は充足して待機児童はいない状況だが、27年度からの子ども・子育て支援新制度では、新たな養育連携型認定子ども園として基準を満たしている施設は認可される方向で

【公共施設等総合管理計画】総務省から、策定に当たり指針案が示され、計画策定費用の2分の1が、特別交付税で財源措置することになった。計画策定に向け、全ての公共施設の現状と課題を把握し、今後の管理について基本的な考え方をまとめていく。取り組み体制等を検討し、26年度から着手したい。

【北高跡地利用調査事業】跡地単体での活用と、中心市街地活性化の観点から駅前、島町、柳町とのつながりの中での活用を検討したい。

【今後の市債のあり方とインフラ整備】市が所有している全ての公共施設等の現状や課題を把握した上で、管理についての基本的な考え方をまとめ

【留守家庭児童会「竹の子の家」淳城西小学校への移転】サン・ウッド能代で行われている「竹の子の家」を26年度に淳城西小学校内に移転する予定で、シャッターやアコーディオンカーテン等の整備を考えている。夏休み明けの供用開始を考えている。

【能代公園利用懇談会の目的と年間の開催回数や委員の構成】能代公園をよりよい公園として整備するため、公園を利用していらっしゃる方々から意見を伺い、今後の整備方針を決定したいと考えている。懇談会については、年5回の開催を見込んでおり、観光協会等から人選したいと考えている。

【高齡化が進む市街地での排雪対策】本予算に排雪対策に係る経費は含まれていないが、今後、手法や車両の確保等が検討課題となる。また、現在は、自治会で除排雪計画がある場合の機械貸し出しを実施しており、引き続きPRしていきたい。

【効果に疑問の声がある東能代新田線の防雪柵の対応】設置されてからある程度時間が経過したため、土地所有者とも相談の上、部分的に区間を定めて、ベルトネットの

【消費増税に伴う指定ごみ袋】今回の消費増税での値上げは行わないが、さらに消費税が引き上げられた場合は改めて検討する。

【農家支援活動事業の概要】農業技術センターを拠点に農家に対してきめ細かな支援を行うもので、個々の農家を訪問し、補助事業の紹介や栽培技術の普及、融資、農業法人

【園芸メガ団地の概要】JAが事業主体となって轟地区にネギのメガ団地を整備するもので、17・5ヘクタールを予定している。整備5年後には391・8トンの生産を目標にしている。

【次期大型七夕製作への未来づくり交付金の活用と観光拠点施設整備】次期大型七夕製作には未来づくり交付金の活用を目指したいと考えている。26年度に市の考え方を示した上で、市民や議会の意見を伺い、合意の上で基本計画を策定したい。

文教民生委員会

総務企画委員会

委員会審査報告



建設委員会

建設委員会

環境産業委員会

(伊藤)

(安嗣)

(渡辺)

(庄司)